

# 秋田県立十和田高等学校

## ボランティア部

高校生ボランティア・アワード2019

### 高校生体験プログラム「サタプロ」

#### 学校紹介・活動概要

##### 【学校紹介】

本校は、秋田県鹿角市の北部、縄文遺跡の大湯環状列石、国の重要無形民俗文化財の毛馬内盆踊、またきりたんぼの発祥の地として知られています。校訓は純・剛・忍、学習と部活動の両立を目指す普通科を有する学校です。全校で取り組む「ふるさと教育(かづの学)」は今年で6年目となり、主に総合的な学習(探究)の時間で取り組んでいます。

##### 【サタプロのねらい及び取り組み】

高校生体験プログラム「サタプロ」は4年前に活動をスタートしました。「サタプロ」とは、高校生が社会人と同じ目線で働くことを目的とした、高校生の自主プロデュース事業です。4年前は「サちびっ商店街」の企画をしました。この体験を通して、グループで考えたり、自分の考えを表現したりすることで、<コミュニケーション能力が身に付く><プレゼンテーション能力等のスキルが向上する><自分の将来、仕事について考える機会になる>など、さまざまな気づきや経験の場を得ることができる事業になっています。

本校ボランティア部は、地域の福祉イベントや福祉施設、図書館でのボランティア等、1年を通して数多くの活動を行っています。高校生がイベントを主催するのは地域では珍しい取り組みです。企画対象はイベントの内容によって、小学生から高齢者まで幅広いです。ここ2年は12月に開催し、昔懐かしい給食作成や昔遊び体験、クリスマステーマとしたランチやスノードームの作成の指導や補助を行いました。月に1回集まって会議を行いました。話し合いが難航することもしばしばありました。他校の参加もあり、協力しながら活動していました。サポートしてくれるのは花輪市民センターの職員で、講師や会場の手配、ポスターやちらし製作の指導も担当していただきました。当日までの準備や予算計画、当日の進行、活動の準備は全て高校生が主体的に行っています。今年度の対象はやはり高校生。高校生が自ら盛り上がるような企画を練ることとしています。



### 「依頼されたら絶対に断らない」

#### 部の活動方針・志

多くの地域団体からのボランティアの依頼、研修の機会は数多くあります。活動は主に土曜・日曜、祝日にあたっているため、学校行事や地区、全県総体、定期考査等の日程、参加者の都合により、全員が参加することが困難な場合もあります。しかし本校はボランティア部のみならず、ボランティア活動に熱心に参加する生徒が多く、仮に参加人数が不足している場合は、ボランティア担当の先生が、全校生徒に参加を呼びかけ参加者を募っています。ボランティア部のスタンスは、「依頼されたら絶対に断らない」。部員の人数で募集人数に満たない場合は、他の生徒を誘ってでも目的達成のために参加人数を集めているのです。

さまざまな活動はあれども、自分たちで主体的に企画から運営まで行い、開催する機会はそう多くはありません。開催までに時間はかかりますし、話し合いの会場は学校からは大分距離があり、また日程の折り合いがつかないこともあります。話し合いが難航することもたびたびあります。

しかし、私たちは地域の方々と年代を問わずふれあいの機会を持ち、相手の気持ちになって接することや活動を通して喜んでほしい、高校生である自分たちの地域における役割を認識したい、若いパワーをいろいろな場面で活用したい、そんな思いが志として根付いているのです。

### 「高校生の力で地域を盛り上げたい～高校時代を謳歌しよう～」

#### サタプロの成果・実績

始めは思うように活動できませんでしたが、時間が経つにつれ、スムーズに進めることができました。子どもたちの中には場の雰囲気になかなか溶け込みない場面もありましたが、職員の方のサポートのおかげで、徐々にその子にも笑顔が出てきました。仲の良い友達や他校の子たちと意見を出し合って積極的に活動していました。特に、5、6年生の上級生の子たちは下級生の子たちに優しく接していたり、お手本となるよう行動したりと頑張っていました。全日程が終了した後片付けの時間となり、担当した以外の場所の片付けもしていて、最後まで活動を楽しんでいました。終わってからの感想は、「やってよかった、またやりたい」「成功して達成感があった」など喜びの声が多数ありました。反省会では、多くの課題も見つかり、今後の活動につなげていきたいと思えました。職員の方々からは最後までやり遂げたとお褒めの言葉をいただいて嬉しかったです。

子どもたち  
幼児、児童

鹿角市の高校生  
花輪・十和田

シルバー世代  
高齢者

講師  
秋田県内のイベント  
プロデューサー他

サタプロ

サポートスタッフ  
花輪市民センター  
職員

### 「地域のパイプ役となる」

#### 今後の展望・夢など

今後は、高校生が中心となって小学校、中学校、公共機関、福祉施設、地域住民などさまざまな団体をつなぐパイプ役としての役割を果たしていきたいと考えています。そのために、ボランティアが盛んな学校という特色を最大限に生かして、思いを実現できるように頑張りたいと思います。



##### <プロフィール>

本校ボランティア部は、昭和36年に前身となるJRC部が発足してから、50年以上にわたり活動を行っています。

主な活動は地域の福祉行事、福祉施設でのボランティア、十和田図書館での「わくわく土曜教室」での小学生を対象とした読み聞かせや創作活動の補助、「ほっとな茶屋」認知症ボランティア、薬物乱用防止キャンペーン被災地(石巻市、気仙沼市)での研修会、読み聞かせ講座、ひまわりの刈り取り、紙ヒコーキフェスティバル、まちなかクエスト等への参加、被災地復興支援販売、サタプロ等幅広く活動しています。現在の部員は7名。

##### <主な受賞歴>

平成28年2月 地域貢献活動(秋田県高等学校PTA連合会)  
平成28年4月「感謝表彰」(鹿角市立図書館協議会)  
平成29年6月 読書普及活動(北日本図書館連盟)  
平成29年10月「小さな親切」実行章  
(公益社団法人小さな親切運動本部)  
平成30年11月秋田県青少年健全育成成功者表彰県知事賞  
平成30年12月「小さな親切」実行章個人表彰